

横浜市告示第85号

横浜市建築基準法施行細則による地下街であるものの調査の項目等

横浜市建築基準法施行細則（昭和38年2月横浜市規則第13号。以下「細則」という。）第6条第3項第1号及び第5項第1号の規定に基づき、付加する定期調査の項目、方法及び結果の判定基準並びに調査結果表を次のように定め、令和2年4月1日から施行する。

なお、横浜市建築基準法施行細則による地下街であるものの調査の項目等（平成28年5月横浜市告示第400号）は令和2年3月31日限り廃止する。

令和2年2月25日

横浜市長 林 文子

第1 この告示における用語の意義は、建築基準法（昭和25年法律第201号。）、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号。以下「令」という。）、建築基準法施行規則（昭和25年建設省令第40号。以下「省令」という。）及び細則の例による。

第2 細則第6条第3項第1号の規定に基づき市長が告示で定める定期調査の項目、方法及び結果の判定基準は、別表の(あ)の欄から(イ)の欄までに掲げるものとする。

第3 細則第6条第5項第1号の規定に基づき市長が告示で定める調査結果表は、別記のとおりとする。

別表

	(あ) 調査項目	(イ) 調査方法	(イ) 判定基準	
(1)	地下街の各構え	令第128条の3第1項各号列記以外の部分に規定する地下街の各構えと地下道の状況	設計図書等により確認し又は鋼製巻尺等により測定する。	令第128条の3第1項各号列記以外の部分の規定に適合しないこと。
(2)	地下道	壁、柱、床、はり及び床版の耐火に関する性能の確保の状況	設計図書等により確認する。	令第128条の3第1項第1号の規定に適合しないこと。

(3)		幅員等の状況	設計図書等により確認し又は鋼製巻尺等により測定する。	令第128条の3第1項第2号の規定に適合しないこと。
(4)		天井及び壁の内面の仕上げ等の維持保全の状況	設計図書等により確認する。	令第128条の3第1項第3号の規定に適合しないこと。
(5)		地上に通ずる直階段等の状況	設計図書等により確認し又は鋼製巻尺等により測定する。	令第128条の3第1項第4号の規定に適合しないこと。
(6)		末端の状況	設計図書等により確認し又は鋼製巻尺等により測定する。	令第128条の3第1項第5号の規定に適合しないこと。
(7)		防煙区画の設置の状況	設計図書等により確認する。	昭和44年建設省告示第1730号第2の規定に適合しないこと。
(8)	防火区画	令第128条の3第2項に規定する区画の状況	設計図書等により確認する。	令第128条の3第2項の規定に適合しないこと。
(9)		令第128条の3第3項に規定する区画の状況	設計図書等により確認する。	令第128条の3第3項の規定に適合しないこと。
(10)		令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第11項に規定する区画の状況	設計図書等により確認する。	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第11項の規定に適合しないこと。ただし、令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ全館避難安全性能に影

			響を及ぼす修繕等が行われな場合を除く。
(11)	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第7項から第10項までの各項の規定する区画の状況	設計図書等により確認する。	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第7項から第10項まで（令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ全館避難安全性に影響を及ぼす修繕等が行われない場合は、第7項を除く。）の規定に適合しないこと。
(12)	防火区画の外部 令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第16項に規定する外壁等及び令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第17項に規定する防火設備	設計図書等により確認する。	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第16項の規定又は令第128条の3第5項の規定に準用する令第112条第17項の規定に適合しないこと。

			の処置の状況		
(13)			令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第16項に規定する外壁等及び令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第17項に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況	目視により確認する。	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第16項に規定する外壁等、令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第17項に規定する防火設備に損傷があること。
(14)	壁の室内に面する部分	耐火構造の壁（防火区画を成る壁に限る。）	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第7項、第10項、第11項又は第16項（令第129条の2第1項の規定が適用され、か	設計図書等により確認する。	令第107条の規定に適合しないこと。

			つ、全館 避難安全 性能に影 響を及ぼ す修繕等 が行われ ないにあ っては、 第7項及 び第11項 を除く。)の規定 による防 火区画の 耐火性能 の確保の 状況		
(15)			給水管、 配電管、 その他 又は風道 の区画貫 通部の充 填等の状 況	設計図書等により確認し、修繕等が行われ、かつ、点検口等がある場合には、点検口等から目視により確認する。	令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第20項若しくは第21項又は令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第129条の2の4の規定に適合しないこと。
(16)	令第128条の3第1項第1号に規定する床	躯体等	木造の床 躯体の劣 化及び損 傷の状況	目視により確認する。	木材に著しい腐朽、損傷若しくは虫害があること又は緊結金物腐食に著しい食等があること。
(17)	令第128条の3第1項第1号に規定する床		鉄骨造の 床躯体の	目視により確認する。	鋼材に著しい錆、腐食等があること。

	版		劣化及び損傷の状況		こと。
(18)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況	目視により確認する。	コンクリート面に鉄筋露出又は著しい白華、ひび割れ、欠損等があること。
(19)	床	耐火構造の床（防火区画構成するものに限る。）	令第128条の3第5項の規定により読み替える準用する令第112条第7項、第10項、第11項又は第16項（令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、全館避難安全性能に及ぼす修繕が行われていない場合は、第7項及び第11項を除く。	設計図書等により確認する。	令第107条の規定に適合しないこと。

		<p>) の規定による防火区画の耐火性能の確保の状況</p>		
(20)		<p>給水管、配電管、その他の管又は風道貫の区画貫の通部分の通充填等の状況</p>	<p>設計図書等により確認し、修繕等が行われ、かつ、点検口等がある場合にあっては点検口等から目視により確認する。</p>	<p>令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第20項若しくは第21項又は令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第129条の2の4の規定に適合しないこと。</p>
(21)	<p>防火設備（防火扉、防火シャッターその他これらに類するものに限る。）</p>	<p>区画に対応した防火設備の状況</p>	<p>目視及び設計図書等により確認する。</p>	<p>令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第19項の規定に適合しないこと。</p>
(22)		<p>居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備における戸の設置の状況</p>	<p>目視及び設計図書等により確認する。</p>	<p>令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第19項の規定に適合しないこと。</p>
(23)		<p>令第128条の3第5項の規定</p>	<p>常時閉鎖した状態にある防火扉（以下「常閉防</p>	<p>令第128条の3第5項の規定により令第112条第19</p>

		により令第112条第19項において準用する昭和48年建設省告示第2563号第1第1号に規定する基について適合の状況	火扉」という。) にあっては、常閉防火扉の閉鎖時間をストップウォッチ等により測定し、扉の重量によりエネルギーを必要とする力に閉鎖する力により測定する。ただし、3年以内の実施記録がある場合は、当該記録により確認すること	項について準用する昭和48年建設省告示第1第1号（同告示第5に定める場合の規定はないこと。
(24)		常時閉鎖動作した状態にある防火設備（以下「常閉防火設備」という。）の本体の劣化及び損傷の状況	目視により確認する。	常閉防火設備の變形又は損傷により遮炎性能又は遮煙性能（令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第19項第2号に規定する特定常閉防火設備に限る。）に支障があること。
(25)	各構えの居室の各部分から地下道へまでの経路	歩行距離の状況	設計図書等により確認し又は鋼製巻尺等により測定する。	令第128条の3第4項の規定に適合しないこと。

(別記)

調査結果表（地下街）

当該調査 に関与し た調査者	氏 名		調査者番号
	代表となる調査者		
	その他の調査者		

番号	調 査 項 目	対 象 の 有 無	調 査 結 果			状 況、 対 策 等	担 当 調 査 者 番 号
			指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格		
(1)	地下街の各構え	令第128条の3第1項各号列記以外の部分に規定する地下街の各構えと地下道の状況					
(2)	地下道	壁、柱、床、はり及び床版の耐火に関する性能の確保の状況					
(3)		幅員等の状況					
(4)		天井及び壁の内面の仕上げ等の維持保全の状況					
(5)		地上に通ずる直通階段等の状況					
(6)		末端の状況					
(7)		防煙区画の設置の状況					
(8)		防 火 区 画	令第128条の3第2項に規定する区画の状況				
(9)	令第128条の3第3項に規定する区画の状況						
(10)	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第11項に規定する区画の状況						
(11)	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第7項から第10項までの各項に規定する区画の状況						
(12)	防火区画の 外周部		令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第16項に規定する外壁等及び令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第17項に規定する防火設備の処置の状況				
(13)		令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第16項に規定する外壁等及び令第128条の3第5項の規定により準用する令第112条第17項に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況					

(14)	壁の室内に面する部分	耐火構造の壁（防火区画を構成する壁に限る。）	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第7項、第10項、第11項又は第16項（令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあつては、第7項及び第11項を除く。）の規定による防火区画の耐火性能の確保の状況						
(15)			給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況						
(16)	令第128条の3	躯体等	木造の床躯体の劣化及び損傷の状況						
(17)	第1項		鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況						
(18)	第1号規す床版		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況						
(19)	床	耐火構造の床（防火区画を構成するものに限る。）	令第128条の3第5項の規定により読み替えて準用する令第112条第7項、第10項、第11項又は第16項（令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあつては、第7項及び第11項を除く。）の規定による防火区画の耐火性能の確保の状況						
(20)			給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部分の充填等の処理の状況						
(21)	防火設備（防火扉、防火シャッターその他これらに類するものに限る。）		区画に対応した防火設備の設置の状況						
(22)			居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備におけるくぐり戸の設置の状況						
(23)			令第128条の3第5項の規定により令第112条第19項について準用する昭和48年建設省告示第2563号第1第1号口に規定する基準についての適合の状況						
(24)			常閉防火設備の本体と枠の劣化及び損傷の状況						
(25)	各構えの居室の各部分から地下道へ		歩行距離の状況						

	の出入口までの経路					
特記事項						
番号	調査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月		

(A 4)